

高度教職実践専攻(教職大学院)のキャリアラム

「発達支援」の視点を中核に据えた
実践的指導力のある教員の育成

共通科目：基本5領域+1領域

授業科目領域	授業科目名
教育課程の編成・実施に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム編成の理論と香川の教育
教科等の実践的な指導方法に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究・開発とICT活用による授業改善 ・指導法分析と学習支援
生徒指導及び教育相談に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導と教育相談の理論と実際 ・道徳教育の実践研究
学級経営及び学校経営に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・自立的学校経営と学校組織 ・学級経営実践研究
学校教育と教員の在り方に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりと校内支援体制 ・学校教育の役割と教員のライフステージ
通常の学級における特別支援教育に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援を視点とした教育と医療 ・教科学習でのつまずき・困難への指導 ・発達と学力のアセスメント

全学生に特別支援教育に関する理解を促す

学校力開発領域

授業科目名	授業科目名
<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営・学年団経営の組織論 ・校内研修と力量形成 ・道徳教育と学校経営実践研究 ・学校改善とリーダーシップ ・教職実践研究 I (学校力開発) ・教職実践研究 II (学校力開発) 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究実習(学校力開発) ・学校臨床実習 I (学校力開発) ・学校臨床実習 II (学校力開発) ・学校力開発実習 I ・学校力開発実習 II <p>実習</p>

授業力開発領域

授業科目名	授業科目名
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解と学習指導 ・授業研究の実際 ・教材開発の理論と実践 ・道徳授業の実践研究 ・教科の本質と授業開発 ・教職実践研究 I (授業力開発) ・教職実践研究 II (授業力開発) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校臨床基礎実習 I ・学校臨床基礎実習 II ・探究実習(授業力開発) ・学校臨床実習 I (授業力開発) ・学校臨床実習 II (授業力開発) ・授業力開発実習 I ・授業力開発実習 II <p>実習</p>

特別支援教育
コーディネーター領域

授業科目名	授業科目名
<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査の理論と実際 ・個別の指導計画と個に応じた支援 ・行動困難と社会性の指導 ・特別支援教育コーディネーターの役割とリソースの活用 ・教職実践研究 I (特別支援教育) ・教職実践研究 II (特別支援教育) 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究実習(特別支援教育) ・学校臨床実習 I (特別支援教育) ・学校臨床実習 II (特別支援教育) ・特別支援教育指導実習 I ・特別支援教育指導実習 II <p>実習</p>

高度教職実践専攻(教職大学院) 履修スケジュール(案) 学校力開発コース
 養成する人材像: 学級経営・学年団経営や学校経営を含めた学校力開発の中核的役割を担いうるスクールリーダーを養成する。

現職教員学生履修モデル		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
履修 方法	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 学校臨床実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 【事前】教職実践研究Ⅰ:全体(4月) 学校臨床実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅱ:オリエンテーション(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ:全体(10月) 学校臨床実習Ⅱ:まとめ(2月) 実践研究報告の構想発表(3月) 教職実践研究フォーラムへの参加(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 学校力開発実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 探究実習:オリエンテーション(7月) 学校力開発実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 実践研究報告の中間発表(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習:まとめ(9月) 学校力開発実習Ⅱ:オリエンテーション(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 実践研究報告書の作成(10月～1月) 学校力開発実習Ⅱ:まとめ(2月) 教職実践研究フォーラムでの発表(3月) 			
共通 科目	<ul style="list-style-type: none"> 指導法分析と学習支援(2単位) 生徒指導と教育相談の理論と実際(2単位) 自律的学級経営と学校組織(2単位) 開かれた学校づくりと校内支援体制(2単位) 発達と学力のアセスメント(2単位) 教科学習でのつまずき・困難への指導(2単位集中) 		<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム編成の理論と香川の教育(2単位) 教材研究・開発とICT活用による授業改善(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 学級経営実践研究(2単位) 学校教育の役割と教員のライフステージ(2単位) 発達支援を視点とした教育と医療(2単位) 						
コース 科目	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営・学年団経営の組織論(2単位) 道徳教育と学校経営実践研究(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(学校力開発)(2単位) 		<ul style="list-style-type: none"> 校内研修と力量形成(2単位) 学校改善とリーダーシップ(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(学校力開発)(2単位) 						
実習 科目	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅰ(学校力開発)(2単位分散) 		<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅱ(学校力開発)(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校力開発実習Ⅰ(2単位分散) 		<ul style="list-style-type: none"> 探究実習(学校力開発)(2単位集中) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校力開発実習Ⅱ(2単位分散) 		

高度教職実践専攻(教職大学院) 履修スケジュール(案) 授業力開発コース

養成する人材像: 道徳教育や授業力向上等の学校課題解決に向け、教育実践を構想し開発するための展望と力量を持つ実践的指導力のある教員を養成する。

学部卒業生履修モデル

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
履修方法	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 学校臨床基礎実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 【事前】教職実践研究Ⅰ:全体(4月) 学校臨床基礎実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ:全体(10月) 学校臨床基礎実習Ⅱ:まとめ(2月) 実践研究報告の構想発表(3月) 教職実践研究フォーラムへの参加(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 授業力開発実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 【事前】教職実践研究Ⅰ:全体(4月) 探究実習:オリエンテーション(7月) 授業力開発実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 実践研究報告の中間発表(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習:まとめ(9月) 授業力開発実習Ⅱ:オリエンテーション(9月)
共通科目	<ul style="list-style-type: none"> 指導法分析と学習支援(2単位) 生徒指導と教育相談の理論と実際(2単位) 自律的学習と学校組織(2単位) 開かれた学校づくりと校内支援体制(2単位) 発達と学力のアセスメント(2単位) 教科学習でのつまずき・困難への指導(2単位集中) 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム編成の理論と香川の教育(2単位) 教材研究・開発とICT活用による授業改善(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 学級経営実践研究(2単位) 学校教育の役割と教員のライフステージ(2単位) 発達支援を視点とした教育と医療(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解と学習指導(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(授業力開発)(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(授業力開発)(2単位)
コース科目	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解と学習指導(2単位) 授業研究の実際(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(授業力開発)(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 教材開発の理論と実践(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(授業力開発)(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解と学習指導(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(授業力開発)(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(授業力開発)(2単位)
実習科目	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床基礎実習Ⅰ(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床基礎実習Ⅱ(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習(授業力開発)(2単位集中) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習(授業力開発)(2単位集中)

現職教員学生履修モデル

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
履修方法	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 学校臨床実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 【事前】教職実践研究Ⅰ:全体(4月) 学校臨床実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ:全体(10月) 学校臨床実習Ⅱ:まとめ(2月) 実践研究報告の構想発表(3月) 教職実践研究フォーラムへの参加(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 授業力開発実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 探究実習:オリエンテーション(7月) 授業力開発実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 実践研究報告の中間発表(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習:まとめ(9月) 授業力開発実習Ⅱ:オリエンテーション(9月)
共通科目	<ul style="list-style-type: none"> 指導法分析と学習支援(2単位) 生徒指導と教育相談の理論と実際(2単位) 自律的学習と学校組織(2単位) 開かれた学校づくりと校内支援体制(2単位) 発達と学力のアセスメント(2単位) 教科学習でのつまずき・困難への指導(2単位集中) 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム編成の理論と香川の教育(2単位) 教材研究・開発とICT活用による授業改善(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 学級経営実践研究(2単位) 学校教育の役割と教員のライフステージ(2単位) 発達支援を視点とした教育と医療(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解と学習指導(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(授業力開発)(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(授業力開発)(2単位)
コース科目	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解と学習指導(2単位) 授業研究の実際(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(授業力開発)(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 教材開発の理論と実践(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(授業力開発)(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解と学習指導(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(授業力開発)(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 教科の本質と授業開発(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(授業力開発)(2単位)
実習科目	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅰ(授業力開発)(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅱ(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習(授業力開発)(2単位集中) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習(授業力開発)(2単位集中)

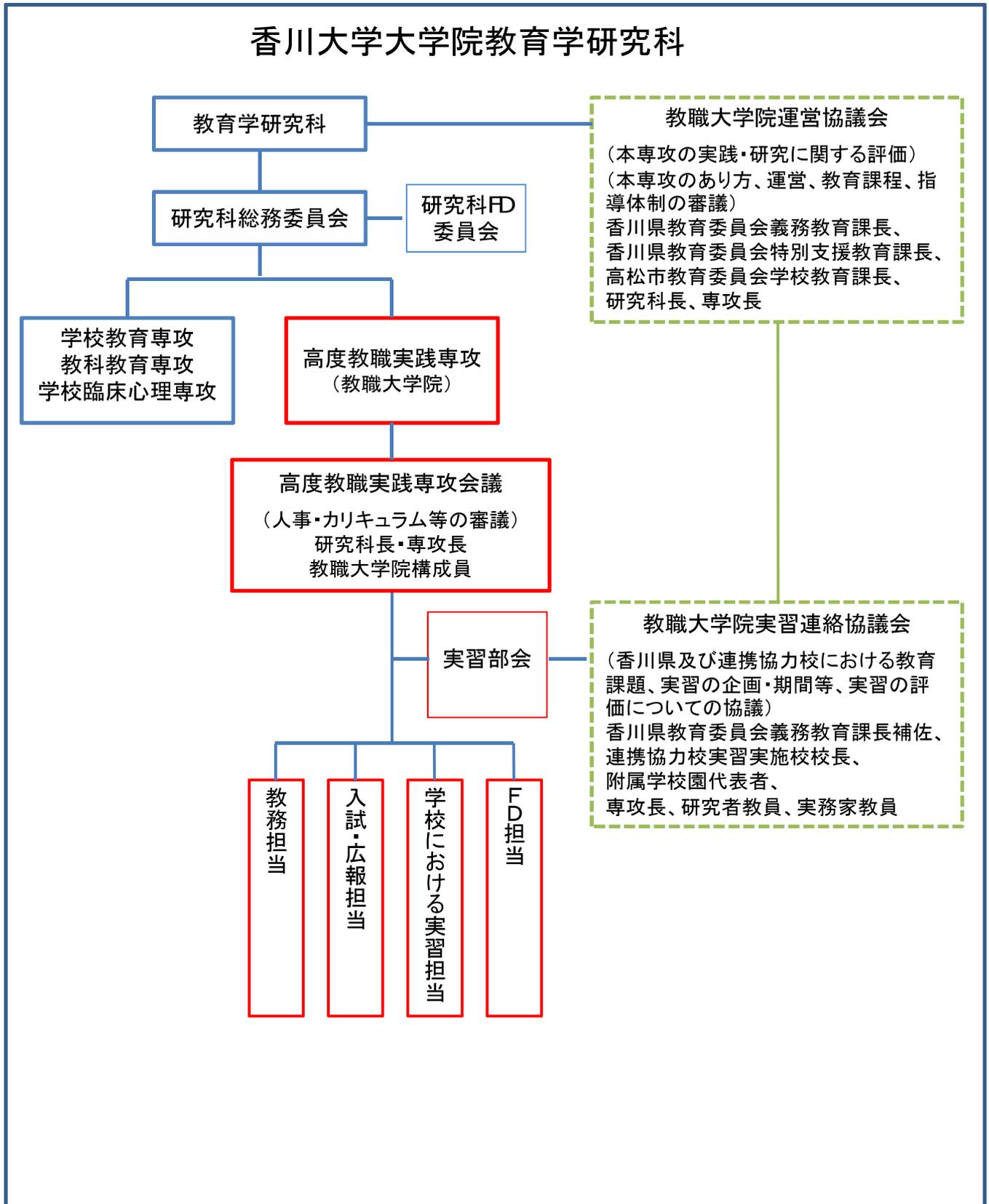
高度教職実践専攻(教職大学院) 履修スケジュール(案) 特別支援教育コーディネーターコース

養成する人材像: 小・中学校等において特別支援教育コーディネーターあるいは通級指導を担当する上で必要な高度な実践的知識と技能を有する教員を養成する。

現職教員学生履修モデル

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
履修方法	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 学校臨床実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 【事前】教職実践研究Ⅰ:全体(4月) 学校臨床実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事前】教職実践研究Ⅱ:全体(10月) 学校臨床実習Ⅱ:まとめ(2月) 実践研究報告の構想発表(3月) 教職実践研究フォーラムへの参加(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めオリエンテーション(4月) 特別支援教育指導実習Ⅰ:オリエンテーション(4月) 探究実習:オリエンテーション(4月) 特別支援教育指導実習Ⅰ:まとめ(8月) 教職実践研究交流会への参加(8月) 実践研究報告の中間発表(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 探究実習:まとめ(9月) 特別支援教育指導実習Ⅱ:オリエンテーション(9月) 実践研究報告書の作成(10月～1月) 特別支援教育指導実習Ⅱ:まとめ(2月) 教職実践研究フォーラムでの発表(3月)
共通科目	<ul style="list-style-type: none"> 指導法分析と学習支援(2単位) 生徒指導と教育相談の理論と実際(2単位) 自律的学習と学校組織(2単位) 開かれた学校づくりと校内支援体制(2単位) 発達と学力のアセスメント(2単位) 教科学習でのつまずき・困難への指導(2単位集中) 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム編成の理論と香川の教育(2単位) 教材研究・開発とICT活用による授業改善(2単位) 道徳教育の実践研究(2単位) 学級経営実践研究(2単位) 学校教育の役割と教員のライフステージ(2単位) 発達支援を視点とした教育と医療(2単位) 		
コース科目	<ul style="list-style-type: none"> 心理検査の理論と実際(2単位) 個別の指導計画と個に応じた支援(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅰ(特別支援教育)(2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> 行動困難と社会性の指導(2単位) 特別支援教育コーディネーターの役割とリソースの活用(2単位) 【事前】教職実践研究Ⅱ(特別支援教育)(2単位) 		
実習科目	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅰ(特別支援教育)(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨床実習Ⅱ(特別支援教育)(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育指導実習Ⅰ(2単位分散) 探究実習(特別支援教育)(2単位分散) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育指導実習Ⅱ(2単位分散)

管理運営組織図



1. 七條正典:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1		生徒指導と教育相談の理論と実際		教職実践研究Ⅰ (学校力開発)	8:00
2					学校臨床基礎実習Ⅰ
3	(道徳教育と学校経営実践研究)		教育実践プレ演習	13:00 学校力開発実習Ⅰ	14:00
4					
5		学級経営・学年団経営の組織論		18:00	

※「教育実践プレ演習」は、4月～10月の中で、2コマ分×5回

時間外

探究実習(学校力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1			道徳教育の実践研究	教職実践研究Ⅱ (学校力開発)	8:00
2		学級経営実践研究		特別活動論(口)	学校臨床基礎実習Ⅱ
3				13:00 学校力開発実習Ⅱ	14:00
4					
5				18:00	教職実践演習

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

2. 柳澤良明: 高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1			開かれた学校づくりと校内支援体制	教職実践研究 I (学校力開発)	
2		自律的学校経営と学校組織			
3		教育経営学		13:00	
4				学校臨床実習 I (学校力開発)	
5				学校力開発実習 I 18:00	

集中(8-9月)

探究実習(学校力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究 II (学校力開発)	
2				特別活動論(口)	
3		学校改善とリーダーシップ		13:00	
4	校内研修と力量形成			学校臨床実習 II (学校力開発)	
5				学校力開発実習 II 18:00	

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

3. 有馬道久:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (授業力開発)	8:00 学校臨床実習Ⅰ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅰ
2	指導法分析と学習支援				
3	(学部)青年心理学(イ)	子ども理解と学習指導			
4	授業研究の実際				
5					

前期集中

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1		学校教育の役割と教員の ライフステージ		教職実践研究Ⅱ (授業力開発)	8:00 学校臨床実習Ⅱ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅱ
2					
3					
4	(学部)青年心理学(ロ)				
5	教材開発の理論と実践				

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

4. 野崎武司: 高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (授業力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅰ 14:00
2					
3	体育学特論	子ども理解と学習指導			
4	授業研究の実際				
5				教科の本質と授業開発 (イ)	

前期集中

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1		学校教育の役割と教員の ライフステージ		教職実践研究Ⅱ (授業力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅱ 14:00
2	教材研究・開発とICT活 用による授業改善			教科の本質と授業開発 (ロ)	
3	体育学特別演習				
4					
5	教材開発の理論と実践				

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

5. 武蔵博文：高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

No.	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (特別支援教育)	
2		障害児心理学			
3				13:00	
4		個別の指導計画と個に応じた支援		特別支援教育 指導実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (特別支援教育)	
5				18:00	

前期集中

教科学習でのつまずき・困難への指導

前期時間外

探究実習(特別支援教育)

後期

No.	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅱ (特別支援教育)	
2		特別支援教育指導特論			
3	行動困難と社会性の指導			13:00	
4				特別支援教育 指導実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (特別支援教育)	
5		特別支援教育コーディネーターの役割とリソースの活用		18:00	

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

6. 恵羅修吉:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (特別支援教育)	
2	視覚の発達と障害		発達と学力のアセスメント		
3				13:00	
4	心理検査の理論と実際			特別支援教育 指導実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (特別支援教育)	
5				18:00	

前期時間外

探究実習(特別支援教育)

後期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅱ (特別支援教育)	
2			発達支援を視点とした教育と医療		
3	障害児心理学特論			13:00	
4				特別支援教育 指導実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (特別支援教育)	
5				18:00	

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

7. 宮前義和: 高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1		生徒指導と教育相談の理論と実際	開かれた学校づくりと校内支援体制	教職実践研究Ⅰ (特別支援教育)	
2	指導法分析と学習支援				
3				13:00 特別支援教育 指導実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (特別支援教育) 18:00	
4					
5					

時間外

探究実習(特別支援教育)

後期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅱ (特別支援教育)	
2					
3	行動困難と社会性の指導			13:00 特別支援教育 指導実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (特別支援教育) 18:00	
4					
5					

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

8. 植田和也：高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (授業力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅰ 14:00
2					
3	道徳教育と学校経営実践研究	子ども理解と学習指導			
4	授業研究の実際				
5				教科の本質と授業開発 (イ)	

前期集中

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1	教職概論		道徳教育の実践研究	教職実践研究Ⅱ (授業力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅱ 14:00
2		学級経営実践研究		教科の本質と授業開発 (ロ)	
3	道徳教育論	学級経営論			
4		道徳授業の実践研究			教職実践演習
5		学級経営・学年団経営の 組織論			

※各色の説明

共通科目
コース科目
実習科目
学部・既存の大学院科目

9. 山本木ノ実: 高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1		生徒指導と教育相談の理論と実際		教職実践研究Ⅰ (特別支援教育)	
2			発達と学力のアセスメント		
3				13:00	
4		個別の指導計画と個に応じた支援		特別支援教育 指導実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (特別支援教育)	
5				18:00	

前期集中

教科学習でのつまずき・困難への指導

前期時間外

探究実習(特別支援教育)

後期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅱ (特別支援教育)	
2			発達支援を視点とした教育と医療		
3				13:00	
4				特別支援教育 指導実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (特別支援教育)	
5		特別支援教育コーディネーターの役割とリソースの活用		18:00	

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

10. 採用予定:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1			開かれた学校づくりと校内支援体制	教職実践研究Ⅰ (授業力開発)	8:00 学校臨床実習Ⅱ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅱ
2					
3					
4					
5					

※「教育実践プレ演習」は、4月～10月の中で、2コマ分×5回

時間外

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1			道徳教育の実践研究	教職実践研究Ⅱ (授業力開発)	8:00 学校臨床実習Ⅱ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅱ
2	教材研究・開発とICT活用による授業改善				
3					
4		道徳授業の実践研究			
5	教材開発の理論と実践	道徳教育特論			

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

11. 田崎伸一郎:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (授業力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅰ 学校臨床実習Ⅰ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅰ 14:00
2	指導法分析と学習支援	授業実践論A			
3				学校教育課程論A	
4	授業研究の実際	教育法規入門			
5					

前期集中

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1			道徳教育の実践研究	教職実践研究Ⅱ (授業力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅱ 学校臨床実習Ⅱ (授業力開発) 授業力開発実習Ⅱ 14:00
2					
3					
4		生活科授業研究			
5	教材開発の理論と実践				

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

12. 採用予定:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (学校力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅰ
2		自律的学校経営と学校組織			
3				13:00 学校力開発実習Ⅰ 18:00	14:00
4					
5					

前期集中

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1	カリキュラム編成の理論と香川の教育	学校教育の役割と教員のライフステージ		教職実践研究Ⅱ (学校力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅱ
2					
3		学校改善とリーダーシップ		13:00 学校力開発実習Ⅱ 18:00	14:00
4	校内研修と力量形成				
5					

※各色の説明

共通科目

コース科目

実習科目

学部・既存の大学院科目

13. 松井保:高度教職実践専攻(教職大学院) 時間割

前期

	月	火	水	木	金
1				教職実践研究Ⅰ (学校力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅰ 14:00
2		自律的学校経営と学校組織			
3	道德教育と学校経営実践研究			13:00	
4				学校力開発実習Ⅰ	
5				18:00	

前期集中

探究実習(授業力開発)

後期

	月	火	水	木	金
1	カリキュラム編成の理論と香川の教育	学校教育の役割と教員のライフステージ		教職実践研究Ⅱ (学校力開発)	8:00 学校臨床基礎実習Ⅱ 14:00
2					
3		学校改善とリーダーシップ		13:00	
4	校内研修と力量形成			学校力開発実習Ⅱ	
5				18:00	

※各色の説明

共通科目

コース科目

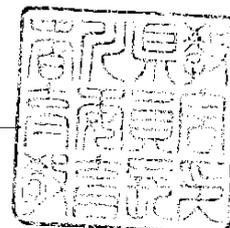
実習科目

学部・既存の大学院科目

26教義第19377号
平成27年2月23日

国立大学法人香川大学
学長 長尾 省吾 殿

香川県教育委員会
教育長 西原 義



香川大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）の 設置について（要望）

平素より本県教育の推進に当たり、種々ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本県では、熟年教員の大量退職、若年教員の大量採用の時期に直面していることから、ベテランの知見を継承し、若年を育てるためにも、教職大学院への現職教員派遣等を通じて、学校現場の中核を担う力を中堅教員に身に付けさせることが急務となっています。一方で、これらの教員は、最も数の少ない層の教員でもあることから、派遣による学びの内容が本県学校現場の実情に即した相応のものでなければ、現場の理解を得てより多くの者を派遣することが益々難しくなっています。

このため、県教育委員会としては、貴大学に対し、引き続き10名程度の現職教員の派遣を行いたいと考えておりますが、貴大学教育学部において現在検討中の教職大学院が現職教員の派遣先となるためには、その内容が以下の事項に即したものであることが必要不可欠であると考えています。

これまでも、貴大学の教職大学院設置準備委員会に県教育委員会の関係課長が委員として参加して学校現場の実情を伝えるなど、貴大学とは緊密に連携をとっているところですが、今後、貴大学において教職大学院の設置を具体化するにあたっては、以下の事項に即したものとなるよう、強く要望いたします。

I 教職大学院全体に共通する事項

1. 県教育委員会推薦者に対する1年短期履修制度の創設と実習の一部免除

大量退職・大量採用の局面において、県教育委員会としては、中堅教員を教職大学院で研修させ、その成果を学校現場に還元させることが急務であると考えておりますが、これらの教員は最も数の少ない層の教員でもあり、現在、学校現場において担任や各種主任等として学校を支えているこれらの教員を、2年間、担任等と両立できない形で派遣することは、上述の通り、益々難しくなっています。

さらに、夜間等にも業務があり、勤務時間を問わず生じる事案に担任自身が各種主任と連携して即座に対応することへの保護者や地域等の期待が高い等の本県の実情を踏まえると、大学院設置基準第14条の特例を適用したとしても、担任等の職務を軽減しない限り、2年目にお

いて有効な学びを保障することは益々厳しい環境になっております。一方、これらの教員に担任等を任せずに学校を運営することは、校内における中堅教員の層の薄さゆえ、校長としては極めて厳しい状況にあることから、県教育委員会としては、1年間の短期履修制度がなければ、県教育委員会として派遣したい数の現職教員を派遣することが一層困難になると考えています。

他方で、県教育委員会としては、県教育委員会が推薦した現職教員に対し、1年間の教職大学院修了後、学校に配置された初年度に、教職大学院での就学の成果を用いて当該配置校の課題解決に実践的に取り組ませ、県内の教員や学生等を対象とした県教育委員会主催の1000人規模の発表会でその結果を発表させることで、質の高い実践的取組みを確実に行わせることにしたいと考えています。これにあたり、修了後の1年間の間、当該配置校における実践的取組みに対し、当該教員の担任等の業務と両立させることを前提とした柔軟な形で貴大学からの指導等を受けられるのであれば、教職大学院在学中の実習を一部免除する制度とすることで1年短期履修制度を創設したとしても、修了後の実践的取組みを伴うこの制度を通じた総体としての学びは、2年制の教職大学院における就学に相当するものに本県ではなりえると考えています。

修了後は、大学院で身に付けた高度な省察力や中核教員であるという自覚をさらに磨き、県内各地でリーダーとして身に付けた力量を最大限に発揮できるよう、管理職登用を含めた人事配置に努めていきたいと考えています。

このため、県教育委員会として派遣したい数の現職教員を教職大学院に派遣するために、県教育委員会が推薦する現職教員について1年間の短期履修制度を創設するよう要望します。また、1年間の短期履修と高度の専門性に基づく実践的指導力の育成の両立が図られるよう、県教育委員会においては、県教育委員会が推薦する現職教員に対し、修了後の初年度に実践的取組みを確実に行わせる仕組みとしますので、貴大学におかれては、そのことを踏まえ、1年間の短期履修制度の創設にあたっては、教職大学院在学中の実習の一部免除と、修了後の貴大学からの指導等に関する柔軟な仕組みの構築をなされるよう要望します。

2. 特別な教育的支援を必要とする通常学級在籍児童生徒に対する指導力育成

特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加していることに加え、特に、知見を有するベテランが大量に退職する局面を迎えている本県においては、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導に関する実践的な知識・技能を教員に身に付けさせることが急務となっています。とりわけ、発達障害の可能性のある児童生徒の多くが通常の学級に在籍していることや、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行う観点から教育を進めていくことは障害のある児童生徒だけでなく全ての児童生徒にとっても良い効果をもたらすことができるものであることを踏まえると、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導に関する実践的な知識・技能を全ての教員に身に付けさせていくことが、本県の総合的な授業力・教育力を向上させる上で必須であると考えています。

貴大学教育学部におかれては、特別支援教室「すばる」を中心として、これまでに、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導に関する実践的な研究を重ねられていることから、県教育委員会としては、教職大学院に現職教員を派遣することで、貴大学のこれまでの実践研究等を基盤とした、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導に関する実践的な知識・技能を、派遣者全員に身に付けさせたいと考えています。

このため、教職大学院に派遣する現職教員が共通して、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導に関して実践的に学ぶカリキュラムとなるよう、要望します。

3. 生徒指導と道徳教育に関する指導力育成

全国学力・学習状況調査等の結果によると、本県の児童・生徒は、全国上位の学力を持ちながらも、自尊意識等が非常に低い、という状況にあり、自尊意識等の向上に向け、生徒指導に関する高い指導力や、生徒指導の観点を取り入れた学習指導に関する高い指導力を全ての教員に身に付けさせることが喫緊の課題となっています。

また、「特別の教科」としての方向性が示された道徳教育に関しても、自尊意識等の向上に資するものをはじめとした実践的な指導方法や高度な専門性を身に付け、各学校全体の生徒指導や道徳教育の中核を担える教員をできるだけ多く、できるだけ早期に養成することが課題となっています。

貴大学教育学部におかれては、これまでも、生徒指導や道徳教育に関する研究を専門として実践的に取り組まれてきた実績があることから、県教育委員会としては、教職大学院に現職教員を派遣することで、貴大学のこれまでの実践研究等を基盤とした生徒指導と道徳教育に関する派遣者全員の実践的指導力を向上させたいと考えています。

このため、教職大学院に派遣する現職教員が共通して、生徒指導と道徳教育に関して実践的に学ぶカリキュラムとなるよう、要望します。

II 教職大学院の設置コースに関する事項

1. 組織・経営に関する実践的指導力を備えた人材の養成

本県においては、ベテランの大量退職の時期をむかえ、現在の中堅教員は、遠からず、管理職等として学校を支え、学校全体の教育力を向上させる役割を担うことが期待されています。学校全体の教育力を向上させるためには、学校組織に関する実践的指導力に加え、学年団経営や学級経営に関する実践的な指導力等が必要ですが、本県においては、これまで、ベテランの層が厚かったために、多くの場合、中堅教員が各種主任等を経験することが少なく、知見・経験の継承が十分になされないままベテランが大量に退職するという状態にあり、中堅教員に組織や経営に関する実践的指導力を身に付けさせることが急務となっています。

また、ベテランの大量退職に伴い、採用後即座に担任を担えるだけでなく、将来の中核的リーダーとなれるような特に優れた学級経営実践力等を備えた新任教員を必要としています。

このため、教職大学院において、学校全体の教育力の向上に向けて、学校組織や学年団経営、学級経営等に関して実践的に学ぶコースを設けるよう、要望します。

2. 学校全体の授業力向上に向けた実践的指導力を備えた人材の養成

全国学力・学習状況調査等の結果によると、本県の児童・生徒は、全国上位の学力を持っているものの、「授業内容が分かる」と回答する児童・生徒に比して「勉強が好き」と答える児童・生徒が少ないという状況にあり、「分かる」だけでなく、児童・生徒の学習意欲を喚起する授業に改善することが喫緊の課題となっています。

また、同調査の結果によると、前述の通り、本県の児童・生徒は自尊意識等が非常に低い状況にもあり、生徒指導の機能を取り入れた授業を展開することも喫緊の課題となっています。学校全体の授業力を向上させるためには、教材開発力や授業構成力に加え、子どもを理解する

力や教科の本質を踏まえて授業開発を行う力等が必要であり、本県教員のこれらの力をさらに高度かつ実践的なものにすることが急務となっています。

このため、教職大学院において、学校全体の授業力の向上に向けて、教材開発や授業構成、子ども理解や教科の本質を踏まえた授業開発等に関して実践的に学ぶコースを設けるよう、要望します。

2. 特別支援教育コーディネーターの養成

特別支援学級が増加する中、県教育委員会としては、特別支援学級在籍児童生徒の校内支援体制の整備や特別支援学校や関係機関との連携の中核的役割を担う人材（特別支援教育コーディネーター）がその機能をさらに充実させることが急務であると考えています。

貴大学教育学部におかれては、特別支援教室「すばる」を基盤として、これまでも特別支援教育コーディネーターを養成されていますが、県教育委員会としては、心理検査や子どもの特性、個別の指導計画等について教職大学院において実践的に学ぶことで、特別支援教育コーディネーターの養成が一層充実するものと考えています。

このため、教職大学院において、特別支援教育コーディネーターを実践的に養成するコースを設けるよう、要望します。

教 評 価 第 1 9 号

平成27年2月12日

香川大学長
長尾省吾 殿

一般財団法人教員養成評価機構

理事長 田村哲夫



香川大学教職大学院の認証評価実施について

貴大学に設置予定の専門職大学院設置基準第26条に規定される教職大学院について、学校教育法第109条第3項に規定する認証評価は、貴大学からの申請に基づき当機構で実施いたします。

(本件担当)

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学内
一般財団法人教員養成評価機構事務局

手塚・山本

Tel:042-329-7860 Fax:042-329-7889

E-mail:hyokajimu@iete.jp